

ごあいさつ

平素は京都産業21の活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

「京都ビジネス交流フェア」は、当財団の販路開拓支援の主力事業として、おかげをもちまして22回目を迎えました。

今回は、新型コロナウイルス感染症への対応としまして、会場でのリアル展示（2月18～19日）とウェブでの「バーチャルパーク京都（VPK）」（2月1日～3月5日）のハイブリッド開催とさせていただいております。会場にお越しいただけない方も、職場やご自宅から気軽にご参加いただけます。

当フェアは、「ものづくり企業を丁寧に繋ぐB to B マッチング」をテーマに、展示や商談の「場」の提供だけでなく、マッチングステーションにより、来場者と出展者のビジネスマッチングを支援しています。バーチャル展示会でもサイト上に「バーチャルマッチングステーションブース」を設け、ニーズに対応可能な出展企業を紹介いたします。

また、今回は「生産性向上」のコーナーに加え、「コロナ感染症対策商品・サービス特別企画展」を新設しました。コロナ感染症対策の製品・サービスをお探しの方は、ぜひ会場で手に取って、体験ください。

さらに、今回も商談会（京都商談会）を同時開催し、展示会との相乗効果を図ります。

会場では、感染症対策を万全にし、みなさまのご来場をお待ちしております。

コロナ禍のなか、ものづくり中小企業にとって新規取引先開拓は切実な課題です。当財団では京都府と連携し、さまざまな施策で支援してまいります。

公益財団法人京都産業21 理事長 村田 恒夫